

湧別町



およそ200品種70万本のチューリップが咲き誇る

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 湧別町観光協会(かみゆうべつチューリップフェア) 【湧別町】

湧別町のシンボルとなったチューリップの魅力を発信

【はじめりは？】

昭和32年に「チューリップで夢を見よう！」を合い言葉に外貨獲得の大きな期待を担って湧別町でチューリップ栽培が開始されました。しかし、安価な海外品におされ徐々に栽培が衰退していきました。チューリップ栽培の夢が志半ばで消えかかったのですが、それでも生産農家たちはチューリップへの深い愛着から畑の片隅や自宅の庭に植え続けました。そして、かつて町の農業に活気をもたらしたチューリップを後生に残すため、昭和51年「町の花」に指定されることになり、農園整備の着手が始まりました。

【おもな活動】

湧別町から「かみゆうべつチューリップフェア」の運営業務を受託し、フェア開催に向けた準備を地域住民の協力の下実施しています。現在では12.5haの畑に約200種70万本のチューリップやその他の花が植え付けられ、毎年5月から6月に「かみゆうべつチューリップフェア」を開催しています。チューリップの球根植え付けは毎年10月に市民ボランティアを募集して実施しており、また、地元中学生が地域産業の歴史を学ぶ場としても活用されています。フェア期間中は、地元小中高生による吹奏楽演奏会や青年協議会によるイベントのほか、球根の予約販売、お気に入りのチューリップの掘取り販売、地元商店による地域特産品の販売なども行われ、観光客と地域住民との交流とともに、地域産業の振興に役立っています。

【ここが自慢】

チューリップの本場オランダや国内の生産地などから毎年新しい品種を導入し、春が遅く冷涼なオホーツクの気候を利用し、開花時期を工夫したこの公園ならではの雄大な景色を作りあげています。「かみゆうべつチューリップフェア」の開催期間中は、5万人を超える来園者があり、入園ゲートの手前に地元でも味自慢の飲食店やお土産店などが軒を連ねるアーチ状のオープンテラスのお店があり、ゆっくりと買い物や食事を楽しんでいただけます。また、園内にはチューピットショップが用意され、お天気が悪くても室内でお買い物や休憩もでき、ご自宅でチューリップを育ててみたい方には球根の予約販売も行っています。



地元のお店が軒を連ねるオープンテラス

連絡先

代表者名：酒井純一さん／設立：2012年／会員：120名

住所：紋別郡湧別町栄町112番地の13

電話番号：01586-8-7611

FAX：01586-8-7622

E-mail：kanko@yubetsu.gr.jp

URL：https://yubetsu-kanko.jp/